

VSX・SX 高輝度光源利用者懇談会 令和4年度 第一回幹事会

日時：令和4年6月27日（木）13:30～ 会場：ZOOM によるオンライン開催

参加者（敬称略）：

虻川匡司（会長）、雨宮健太、奥田太一、木村昭夫、木下豊彦、近藤寛、堀場弘司、松井文彦、
宮脇淳、山本達、原田慈久（オブザーバー）、松田巖（オブザーバー）、木村隆志（オブザーバー）

議事：

- 1、会長・各委員挨拶
- 2、各委員長の承認
- 3、令和3年度会計報告（報告書を添付）
- 4、ニュースレターについて
- 5、退会手続きの簡素化について、若手参入の促進について
- 6、VUV-SX 懇談会の目的（※会則第2条）の変更について
- 7、「VSX 懇談会の今後のあり方を考えるワーキンググループ」の活動について

議事録：

- 1) 以下の通り、各委員長が承認された。
会計委員長、庶務委員長：奥田太一先生（広島大学）
編集委員長：宮脇淳先生（量研）
会計監査、計画委員長：山本達先生（東北大）
- 2) 山本先生（昨年度会計委員長）より令和3年度の会計報告がなされ承認された。
- 3) ニュースレター発行の準備状況に関して確認がなされた。
次年度の特集テーマ・執筆記事に関しての提案がなされた。
- 4) VUV・SX 高輝度光源利用者懇談会の運営現状に合わせて、退会・入会手続きの明示化・簡素化に関して議論が行われた。
・平成22年度の際には、手紙で退会意思の確認がなされたとの報告がされた。
・総会のタイミングで将来計画などと含めて、入退会方法の議論を行う。
- 5) VUV・SX 懇談会の目的（会則第2条）に関して議論がなされ、活動の現状に合わせて以下の改定を加えた素案を、総会で意見を募ることとされた。また、これまでの協力企業に対して、説明が必要であろうとの意見が挙げられた。
(素案)
本会は、全国的な組織としてVUV・SX高輝度光源の開発ならびにその利用に関わる情報交換の円滑化を図るとともに、会員相互の交流の促進を図り、光科学の発展に寄与することを目的とする。
- 6) 「VSX 懇談会の今後のあり方を考えるワーキンググループ」に関して、活動の方針と進行の核になるメンバーに関して意見の交換がなされた。